

可児市広見子ども育成協議会 インリーダー研修会で防災講座を行いました

令和8年2月23日（月・祝）、可児市広見子ども育成協議会 インリーダー研修会で可児市立広見小学校の4.5年生48名に防災講座を行いました。広見小学校は近くに可児川や瀬田川が流れ、学校周辺は土砂災害特別警戒区域に指定されています。

講座では、可児市でも被害があった伊勢湾台風や可児川が氾濫した平成22年の7.15梅雨前線豪雨など過去の水害について学習しました。浸水疑似体験映像や土砂災害映像も視聴し、伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では「伊勢湾台風はなぜ被害が大きくなったのですか？」などの質問を通して、水害の恐ろしさについて理解を深めました。

また、危険予知トレーニング（KYT）では「大雨の時、どんな危険があるのか？」の質問に対して代表児童が発表し、「危険を避けるためにはどうしたら良いか？」などどのように行動するかを考え、防災意識を高めました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

